

差別事象等一覧【前回報告(令和7年8月20日)以降分】

件数	①差別事象区分	②手段	③発見・発覚日時	④発見・発覚場所	⑤発見者・通報者	⑥関係機関	⑦行為者	⑧被害者	⑨その他の関係者	⑩事象の概要	⑪経過	⑫関係機関との調整内容	⑬当面の対応	⑭備考
1	同和問題	インターネット上の書き込み	令和7年7月9日 (動画確認日)	SNS	市民	人権政策課	投稿者	同和地区住民		<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上のSNSにおいて、〇〇地域周辺を通行し、撮影した動画を字幕つきで投稿。市営住宅等の周辺施設を投稿している。撮影時期は不明。 ・〇〇地域周辺を晒すことを目的とする悪質な投稿と思われる。 ・同アカウントでは、他の地域についても同様に投稿している。 	<p>人権政策課にて差別性のある動画投稿として把握。 当該SNSに対し、「差別的または攻撃的なコンテンツ」として報告。 大阪府人権擁護課に情報提供し、削除要請を依頼済。 大阪法務局東大阪支局に対し、文書にて削除要請を依頼済。</p>		<p>部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくすため、引き続き人権啓発の取り組みを実施するとともに、差別事象対応マニュアルを周知し、差別事象が発生した場合の職員の対応を徹底する。</p>	
2	同和問題	発言	令和7年11月11日	委託先の電話	職員	人権政策課	発言者	同和地区住民		<ul style="list-style-type: none"> ・八尾市営住宅の滞納家賃回収業務の委託先より、滞納家賃債務者の相続人(長男)に催告書を発送したところ、それに対する電話連絡が家賃回収の委託先の法人にあった。 ・応対した担当者に対し「なぜ一緒に暮らしていた長女に請求しないのか」と別の相続人への催促を行うよう強く求める趣旨の発言に続き、催告に至る経過について、債務者である母親が「同和住宅になぜ入居しているのか」「同和の住宅に一般人を入居させていいのか」といった発言があった。 	<p>後日、委託先より提出された報告書を確認する過程で、電話による発言内容を八尾市が発見した。</p>		<p>部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくすため、引き続き人権啓発の取り組みを実施するとともに、差別事象対応マニュアルを周知し、差別事象が発生した場合の職員の対応を徹底する。</p>	